design seminars by Design Innovation Consortium

DESIGN SCHOOL KYOTO UNIVERSITY

2016.5.19THU.~5.21SAT.

Series 4 ビッグデータビジネスデザイン

データ分析の基礎から社内利用のコツまで

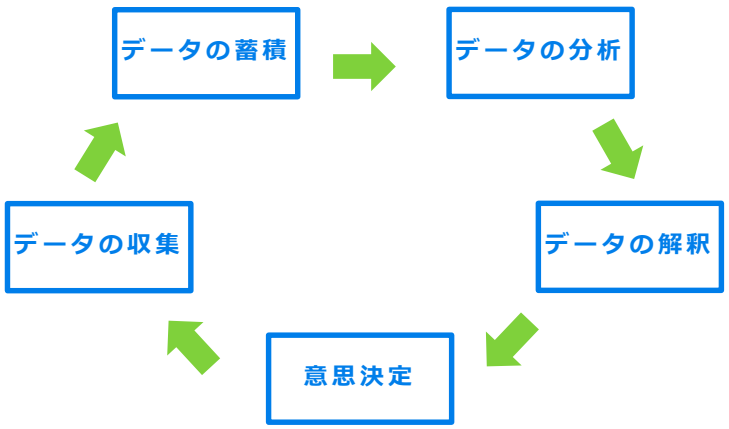
デザインセミナーは、デザイン対象領域の理論を説く講義とデザイン理論を実践するワークショップを組み合わせたセミナーです。第4回目は「ビッグデータ」をテーマに実施します。社会における複合的な問題を多角的に捉え、解決する能力の養成を目指す3日間集中のカリキュラムをご用意しています。

今世界中の企業がビッグデータに注目しています。これは、従来利用されず業務とともに蓄積される、または捨てられていたデータを集約し、それらデータを相互に連携して利活用することにより新しいビジネスへと発展する事例が多数確認されるようになったからです。ビッグデータまたはビッグでなくても社会へ蓄積されながら利用できていないデータにはまだまだビジネスチャンスが存在しているはずです。そのためには、利用できていないデータの掘り起こしとその価値の発見のプロセスこそが利活用の第一ステップとなります。

ビッグデータ	企業データ、オープンデータ、政府系オープンデータ、IoT、e-コマース・データなど
分析技術	データ分析のプロセス(データの獲得、収集、分析、解釈)とデータ可視化・データ特徴抽出
ビジネスプロセス	データ分析結果の解釈とビジネスプロセスへの落とし込み

プログラムの特徴

ビッグデータの利活用は、はじめは小さなデータの断片から開始され、一連のプロセスにより導き出された洞察を使い、更にデータの収集と蓄積を質量ともに増大させる連鎖として行われます。このような方法はPDCAサイクルになぞらえられる活動とも見ることができます。では、どのようにして、このようなサイクルを社内に構築し、ビッグデータを社内で利活用する仕組みを作り上げていけばよいでしょうか？このセミナーでは３日間のデータ可視化分析とグループワークを通じてこのサイクルを社内に構築するための手法を疑似体験を通じて学習します。



カリキュラム

	DAY1 5.19 thurs.	DAY2 5.20 fri.	DAY3 5.21 sat.
	データ分析の基礎とレポーティングを通して、探索的データ分析を学習	データ分析結果を用いたアイディエーション（ニーズ・シーズ分析の実践）	データ駆動型サービスのUX仮説構築と作業体験
9:30		■レクチャー 「政府府統計オープンデータ 今と未来（仮）」 独立行政法人統計センター統計編集部 共同利用システム課　西村　正貴 ■チームビルディング ■アイディエーション１ 「レポート共有」	■レクチャー 「ペルソナとカスタマージャーニーマップの作成方法」 ■ペルソナとカスタマージャーニーマップ作成
11:00	■オープニング ■レクチャー 「ビッグデータの現状（仮）」 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 機構長　北川　源四郎		
12:00			
13:00	■実習 「データ分析ツールの利用方法」 Tableau Japan株式会社 Technology Evangelist、 Sales Consultant　並木 正之	■プレゼン準備 「ニーズ・シーズ分析の実践とツールを用いたレポート作成」 ■チーム内プレゼン	■カスタマージャーニーマップ作成 ■プレゼンテーション
15:00			
15:15	■レクチャー 「京都市のオープンデータと統計（仮）」 京都市（予定） ■実習 「ツールを用いたデータ分析とレポーティング」	■アイディエーション２ 「かけ合せと絞り込み」	■インフォマーケット ■リフレクション ■クロージング
18:00	懇親会		

【Tableau】
2020 年には、世界中で生成されるデータ量は 2011 年当時の 50 倍に、 情報ソースの数は 75 倍になることが予想されます (出典: IDC、2011 年)。 これらの膨大なデータには、人類の進歩にとってのチャンスが多く含まれています。 しかし、そのチャンスを活かすには、データをすぐに使えるようにする手段が必要です。 Tableau は、まさにその手段を提供するソフトウェアです。
Tableauでは、誰もがデータを早く簡単に可視化し、そこからビジネスを成長させるヒントを得ることができます。様々なデータに接続でき、ドラッグ＆ドロップで直感的に操作することができます。インタラクティブなダッシュボードも数クリックで作成、そして公開することが可能です。Excelユーザであれば、誰でもすぐに使えるようになります。

学習目標

- 政府統計オープンデータを例題としたプレサンプリングの方法とレポーティング技術
- データの可視化方法
- グループワークを通じてデータを解釈し利活用する技術
- デザインメソッドを用いた経営企画の立案方法

講師

北川　源四郎　情報・システム研究機構 機構長、日本学術会議 会員、総合研究大学院大学 名誉教授

1974年 東京大学大学院博士課程中退、1974年 文部省統計数理研究所研究員、助教授、教授を経て、2002年－2011年 統計数理研究所長、2011年から　情報・システム研究機構長。専門は統計数理（時系列解析、統計的モデリング）。
この間、1980年－1981年タルサ大学助教授、1981年－1982年合衆国商務省センサス局研究員、1988年－1991年 東京大学経済学部助教授、1988年－2011年 総合研究大学院大学助教授・教授、1996年－1998年 日本銀行金融研究所国内客員研究員。

西村　正貴　独立行政法人統計センター統計編集部共同利用システム課

準備中

並木　正之　Tableau Japan株式会社　Technology Evangelist、Sales Consultant

Tableau Japan 設立時からのメンバーであり、Tableau 製品のエキスパートです。セールスコンサルティングマネージャーとして、日本のお客様への Tableau 製品の導入および活用を支援しています。また多くのセミナー / 講演会でエバンジェリストとして Tableau 製品の紹介にとどまらず、データ分析における最新ビジネストレンドや技術トレンドへの啓蒙を行っています。

開催要項

日　程	2016年5月19日（木）～21日（土）
会　場	京都リサーチパーク　京都市下京区中堂寺南町134 http://www.krp.co.jp/access/
対象者	データの分析手法とその利活用に関心のある方
受講資格	なし（データ分析、資料作成に使用するためノートPC持参のこと）
定　員	30名程度
参加費	正会員A　165,000円（税込） （1社複数参加の場合、2人目以降90,000円/グループ会社から参加の場合も適用） 正会員B　200,000円（税込）（複数割引制度についてはお問い合わせください） 一般　300,000円（税込） ※宿泊費は含まれておりません
申込方法	デザインイノベーションコンソーシアムのWEBよりお申込みください http://designinnovation.jp/program/designseminars/ds04.html
募集期間	2016年3月24日（木）～4月28日（木）
主　催	デザインイノベーションコンソーシアム
後援	京都大学デザイン学大学院連携プログラム
問合せ先	デザインイノベーションコンソーシアム　事務局 京都リサーチパーク株式会社　山口 Tel:075-315-8522 mail:info@designinnovation.jp